

「JAPANドッグストア ショー」「TAF」で文京生活躍

学部を超えて、学生たちが2つのフェアで持ち前の「学生力」を發揮し、大活躍しました。

JAPANドッグストアアショー

3月16日〜18日まで、第12回「JAPANドッグストアアショー」が幕張メッセで開催され、経営学部・新田ゼミ2年生の戸張洋介さんと三須田悠莉さんが、株式会社STBヒグチ（東大阪市）のブースを担当しました。

当社が出展したのは特殊な歯ブラシ。柄の先に通常の歯ブラシの20倍の毛が360度巻きついて丸い形で、磨きにくい奥歯の隅々までしっかりと届きます。歯を

包み込むように磨けるため、歯ぐきブラッシングも同時にでき、2週間後には歯垢の状態に大きな改善が見られる優れものです。綿毛のような柔らかさで、商品名は「たんぽぽの種」。

ふたりは同商品をPRするに当たり、ショーの1カ月前から同社とやり取りをして要望を聞き、東京国際アニメフェア（TAF）。文京学院ブースも例年同様に賑わいました。今回は、「新・文明の旅」プログラムを通じて交流のある在日ブルガリア共和国大使館と、本学コンテンツ多言語知財化センターの「フ

東京国際アニメフェア（TAF）

3月22日〜25日、「アニメの力でこどもたちに夢と希望を!!」をテーマに東京ビッグサイトで開催され、延べ10万人が来場した「東京国際アニメフェア（TAF）」。文京学院ブースも例年同様に賑わいました。今回は、「新・文明の旅」プログラムを通じて交流のある在日ブルガリア共和国大使館と、本学コンテンツ多言語知財化センターの「フ



口張洋介さん（左）と三須田悠莉さん（右）のプレゼンテーションの様子

大学院経営学研究所1年の竹内僚平さんが制作したCMが流れ、来場者の目を引きました。「0.09mmの毛による歯磨きを2週間続けていただくと、その違いが判ります」と胸を張ったふたり。同社の阿形肇統括部長、濱口清東日本グループリーダーも会場を待機し、ふたりの活躍を見守りました。



学生のプレゼンテーション（右）に聴き入る来場者（TAF）

引きました。その様子は、東京新聞にも掲載されました。文京学院ブースに於ける名物風景の学生によるプレゼンテーションは、「株式会社STBヒグチ」「スターツファシリティーサービス株式会社」からスタート。両社と学生のコラボレーションによるPR用アニメーション制作に関する内容に続き、「初年次教育ソフト」「小学生向け英語学習ソフト」など10にも及ぶ発表がありました。海外からの来場者にも対応できるよう、外国語部の学生も英文パンフレット作成時の英訳や通訳を担当して協力しました。

学生による英語での「マーケティング案」プレゼンテーションと、ブルガリアのアニメーターによる作品紹介もあり、ネイティブスピーカーも興味を持って聴き入りました。